

進路だより 拓

発行日

令和6年2月29日 第19号

いよいよ 旅立ちの時

〈卒業予定者のみなさんへ〉

2月に入り卒業式まであと何日とカウントダウンしていたのが、いよいよ明日卒業予定者7名のみなさんは諫早高校定時制を飛び立ちます。第72回生のみなさん卒業おめでとございます。

明日の卒業証書授与式では、一人ひとりが自信と誇りを胸に、呼名に対してはっきりと返事をし、堂々とした立ち居振る舞いを見せてください。立派な姿を見せることが、後輩に対する最後の贈り物です。

これまでみなさんを育ててくれた保護者やみなさんを支えてくれた多くの方々への感謝の気持ちを忘れないでください。

時が経ち、成長したみなさんに再会できる日を楽しみにしています。



「飛び立つ日のために」

— 長崎明誠高校記念碑 —

飛び立つ日のために 私は翼をつくっている

ひとの翼ではうまく飛べないから 自分にあう翼をつくりたい

今の翼で高く飛べるだろうか 今の翼で遠くまで飛べるだろうか

ひとの助けなしに飛べるだろうか ひとを助けながら飛べるだろうか

不安もある 期待もある

だから私は毎日翼をつくる

飛び立つ日のために

在校生のみなさんも、納得のいく自分だけの“翼”をつくってください。

贈る言葉

感謝にまさる能力なし

「感謝の心」をもって生きられるのは何と幸せなことだろうか。

一粒の米に、一杯の水に、

一輪の花の美しさに、

一匹のおろぎの鳴き声に、

人の情けのありがたさに、

感動できる心を持ち続けよう。

どんなに貧しくとも、心豊かに生きられることだろうか。

いつも「ぐち」をこぼす人がいる。

それが何のためになるのだろうか。

針ほどのことを棒ほどのことに喜

べば、棒ほどの結果が生まれるのである。

◇ 世界最高齢の総務部員は90歳 (R3.2.11 産経新聞)

大阪のねじ専門商社に勤務する90歳の玉置泰子さんが「世界最高齢総務部員」としてギネス世界記録に認定された。勤続64年。「今日頑張れば、明日も頑張れる」の精神で、人生を送ってきた。「私に定年はない。働けるかぎり、いつまでも頑張る」と生涯現役を誓う。約20年前、社内でIT化が急速に進んだとき、すでに70歳近かったが「わくわく気分で」パソコンの使い方を習得した。～中略～ 長く楽しく働き続けるコツについて、玉置さんは「毎日を有意義に暮らすことで先々のエネルギーを蓄えて欲しい」と話している。

◇ 保護者アンケート結果 前号でお願いしたアンケート結果です。

・回答数 12 (1年6 2年1 3年1 4年4)

***見たことがある 10 *見たことがない 2**

- いつも見返せるように創刊号から綴っています。第14号の「全員の進路が決まりました」の記事は私も嬉しかったです。
- 今年度からすごく立派な“進路だより”をいただくようになり、進路のことだけでなく、学校行事や学校の様子を知ることができ、学校が身近に感じられるようになりました。いつも大事に読ませていただいています。
- 2月19日に1年分見て!!と渡されました…。この様な情報発信があった事を卒業目前に知り残念。

このような感想をいただくと、作成者として励みになります。感謝します。